

2019年5月15日

各 位

会社名 株式会社ジーエヌアイグループ  
代表者名 取締役代表執行役社長兼CEO イン・ルオ  
(コード番号:2160 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役代表執行役CFO トーマス・イーストリング  
(TEL. 03-6214-3600)

**(訂正) 「平成29年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」の一部訂正について**

当社は、2017年11月10日に開示いたしました「平成29年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2019年5月15日)付「有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



## 平成29年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

上場取引所 東

コード番号 2160 URL <http://www.gnipharma.com>

代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役代表執行役CFO (氏名) トーマス・イーストリング TEL 03-6214-3600

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	1,463	76.2	△118	-	△159	-	△214	-	△289	-	△114	-
28年12月期第3四半期	830	13.9	△272	-	△626	-	△710	-	△705	-	△781	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	△2.37	-
28年12月期第3四半期	△6.20	-

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	14,672	9,441	8,564	58.4	63.65
28年12月期	5,818	4,533	3,261	56.0	28.60

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	-	-	0.00	0.00
29年12月期	-	-	-	-	-
29年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,907	122.5	231	-	266	-	147	-	△63	-	1.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 Berkeley Advanced Biomaterials LLC、除外-社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	134,561,831株	28年12月期	114,024,831株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	3,632株	28年12月期	3,632株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	122,317,752株	28年12月期3Q	113,690,698株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、平成29年11月14日に、アナリスト向けの四半期説明会を開催する予定です。その説明内容については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	4
(3) 研究開発活動 .....	5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
要約四半期連結損益計算書 .....	8
要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

## 会社概要

当社グループは、医薬品事業及び生体材料を含む医療機器事業に注力するグローバルなライフサイエンス企業です。当社の主な収益源は、中国での医薬品事業における特発性肺線維症（IPF）治療薬であるアイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：Etuary®（一般名：ピルフェニドン）〕及び米国での医療機器事業における生体材料の売上収益です。当社グループの医薬品事業は、肺、腎臓、肝臓の線維症、肝硬変・慢性肝不全急性化（ACLF）及び急性前骨髄球性白血病（APL）の革新的な治療薬を含む開発品ポートフォリオから構成されています。当社は、中国において臨床試験を実施しておりますが、2018年には、米国市場での臨床試験プログラムも追加する予定です。

当第3四半期連結累計期間において、当社は、100%子会社であるGNI USA, Inc.を通じて、非公開会社であり、生体材料を含む医療機器を取り扱うBerkeley Advanced Biomaterials LLC (BAB) の株式の過半数を取得しました。この買収を踏まえ、当社は、医療機器事業を報告セグメントとして新たに設置した上で、BABを当セグメントに追加しました。これにより、当社グループでは、BABを通じて、あらゆる種類の人工骨の提供が可能となり、追加的な収益源獲得とライフサイエンス業界における多角化、さらには重要な市場である米国における事業の拡大を実現しました。当社は、BABの2017年8月1日以降の業績を医療機器事業セグメントに取り込む形で、当第3四半期連結累計期間から連結しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績、財務状態及び研究開発活動は以下のとおりです。

## (1) 経営成績に関する分析

## ① 当第3四半期連結累計期間の経営成績

## 連結経営成績概要

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
売上収益	830,592	1,463,578	632,985
売上総利益	695,462	1,203,977	508,514
営業利益（△損失）	△272,538	△118,460	154,077
四半期利益（△損失）	△710,471	△214,186	496,285

## 売上収益及び売上総利益

当第3四半期連結累計期間において、売上収益は前年同期比約76.2%増加の1,463,578千円となりました。当第3四半期連結累計期間の売上総利益は、前年同期比約73.1%増加の1,203,977千円となりました。この増加は、医薬品事業セグメントにおけるアイスーリュイの継続的な売上増加に、医療機器事業セグメントにおけるBABの売上収益が加わったことによるものです。

当第3四半期連結会計期間におけるアイスーリュイの売上収益は、前年同期比158百万円、または約69.4%増加の388百万円となりました。当第2四半期連結会計期間と比べると、当第3四半期連結会計期間におけるアイスーリュイの売上収益は、約25.1%増加しました。各省における補償等の実施が遅れているため、ピルフェニドン（アイスーリュイの一般名）の新保険目録収載が売上に与えた影響は依然として限られていますが、新保険目録収載によりアイスーリュイの認知度が向上し、手の届きやすい価格になることで、将来的かつ継続的に潜在患者数の拡大を促す契機になると見込んでいます。

## アイスーリュイ 売上収益推移（2016年10月～2017年9月）

(単位：百万円)

	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間	当第3四半期 連結会計期間
売上収益	429	285	310	388

アイスーリュイが新保険目録に収載されたことによって、患者の方々がアイスーリュイを購入しやすくなることから、当社は当患者助成プログラムを段階的に縮小しております。当第3四半期連結累計期間には、中国ベースン基金を通してアイスーリュイ生産量の約7.6%がIPF患者の方々に配布されました。

## 営業利益（損失）

当第3四半期連結累計期間の営業損失は、前第3四半期連結累計期間の272,538千円の損失と比べ、154,077千円改善し、118,460千円の損失となりました。営業利益の継続的な改善は、主として、販売費及び一般管理費の増加を相殺するアイスリュイ及びBABの売上総利益の増加、研究開発費の減少及びその他の収益の増加によるものです。

## 四半期利益（損失）

当第3四半期連結累計期間の四半期損失は、前第3四半期連結累計期間の710,471千円の損失と比べ、496,285千円改善し、214,186千円の損失となりました。

## 販売費及び一般管理費の明細、研究開発費

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
販売費及び一般管理費	△776,580	△1,179,606	△403,025
人件費	△268,426	△408,439	△140,012
その他の支払手数料	△256,077	△115,148	140,928
研究開発費	△201,869	△170,629	31,239

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前第3四半期連結累計期間に比べ403,025千円増加し、1,179,606千円となりました。これは、主に、アイスリュイの売上増加に伴って、北京コンチネント薬業有限公司（北京コンチネント）における販売費及び一般管理費が比例的に増加したためです。研究開発費が前年同期に比べ減少したのは、主として、アイスリュイの適応症である結合組織疾患を伴う間質性肺疾患（CTD-ILD）及び糖尿病腎症（DN）に関する臨床試験の遅れによるものです。

## 金融収益及び金融費用

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
金融収益	14,500	18,282	3,782
金融費用	△346,278	△25,819	320,458

## 金融収益

当第3四半期連結累計期間の金融収益は、前第3四半期連結累計期間の14,500千円と比べて、3,782千円増加し、18,282千円となりました。これは、主として、利息収入の増加及び為替差益の発生によるものです。

## 金融費用

当第3四半期連結累計期間の金融費用は、前第3四半期連結累計期間の346,278千円と比べて、320,458千円減少し、25,819千円となりました。これは、主として、当第3四半期連結累計期間における為替レートが当社に有利に動き、為替差損が大幅に減少したためです。

## ② セグメント情報

## 医薬品事業

当第3四半期連結累計期間の医薬品事業における売上収益は、前第3四半期連結累計期間と比べて332,867千円増加し、1,163,460千円となりました。セグメント損失は、前第3四半期連結累計期間と比べて24,948千円増加し、299,841千円となりました。

## 医療機器事業

当第3四半期連結累計期間の医療機器事業における売上収益は300,118千円となり、セグメント利益は143,018千円となりました。

## (2) 財政状態に関する分析

## 連結財政状態

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間	差額
資産合計	5,818,798	<u>14,672,410</u>	<u>8,853,612</u>
負債合計	1,285,729	<u>5,230,486</u>	<u>3,944,757</u>
資本合計	4,533,069	<u>9,441,924</u>	<u>4,908,855</u>

## 資産合計

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて8,853,612千円増加し、14,672,410千円となりました。これは、主として、新株予約権の行使による手取金により現金及び現金同等物が増加したこと並びにBABの買取にのれん及び有形固定資産が増加したことによるものです。

## 負債合計

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,944,757千円増加し、5,230,486千円となりました。これは、主として、BABの買取に伴い、非支配持分の保有者に対してプット・オプションを付与したことにより、その他の金融負債が増加したことによるものです。

## 資本合計

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて4,908,855千円増加し、9,441,924千円となりました。これは、主として、BABの買取に伴い、非支配持分の保有者に対してプット・オプションを付与したことにより資本剰余金及び非支配持分が減少したものの、当第3四半期連結累計期間において完了した新株予約権の行使による手取金により、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものです。

## 連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△502,919	<u>△599,857</u>	<u>△96,938</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	147,129	<u>△6,492,930</u>	<u>△6,640,059</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,938	8,658,673	8,738,612

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの支出は、前第3四半期連結累計期間の502,919千円と比べて96,938千円増加し、599,857千円となりました。主な支出は、営業債権及びその他の債権の増加368,913千円であります。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの支出は、前第3四半期連結累計期間の147,129千円の収入と比べて6,640,059千円増加し、6,492,930千円となりました。主な支出は、子会社持分の取得による支出6,459,217千円で、これはBABの買取にかかるものあります。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの収入は、前第3四半期連結累計期間の79,938千円の支出と比べて8,738,612千円増加し、8,658,673千円となりました。主な収入は、当第3四半期連結累計期間において完了した新株予約権の行使による株式の発行による収入8,746,190千円であります。

## (3) 研究開発活動

医薬品事業における研究開発活動の詳細は以下のとおりです。

## ■アイスーリュイ

## 放射線性肺炎 (RP)

当社グループは、アイスーリュイの2番目の適応症として、RP治療薬の第3相臨床試験前パイロット試験を実施しております。これは、反復投与、多施設でのオープン試験を行うもので、2017年9月末現在、10の施設で11人の被験者登録が行われています。

## 糖尿病腎症 (DN)

DNは、I型糖尿病又はII型糖尿病により引き起こされる慢性腎臓病です。統計によれば、中国では、糖尿病の有病者が9,240万人に達すると報告されていて、I型又はII型糖尿病患者の20~30%が腎疾患を引き起こすとされています。当社グループは、2016年8月、アイスーリュイの3番目の適応症であるDN治療薬の治験許可 (IND) 申請に対する承認を、中国国家食品薬品監督管理総局 (CFDA) より取得しました。同承認により、当社は、DNに関し第2相臨床試験を直ちに開始することが認められており、2018年の比較的早い時期に当該試験を開始すべく準備しております。

## 結合組織疾患を伴う間質性肺疾患 (CTD-ILD)

2016年9月、当社グループは、アイスーリュイの4番目の適応症であるCTD-ILD治療薬としてのIND申請に対して、CFDAより、第3相臨床試験から直ちに開始できる承認を取得しました。CTD-ILDは、結合組織疾患 (CTD) を持つ患者の肺が、炎症及び線維症、又はいずれか一方の症状を引き起こす状態のことを指します。CTDは、全ての体細胞の支持構造体である結合組織の障害で、その典型的な症状は、肺などの体内の複数の臓器や組織の炎症と傷跡です。間質性肺疾患 (ILD) は、CTDに伴う最も重篤な肺の合併症で、重篤な症状や死に至る疾病です。アイスーリュイに対するIND承認は、CTD-ILDの2つの適応症に関するもので、これらは全身性強皮症 (強皮症) 及び皮膚筋炎 (DM) です。中国におけるCTD-ILDの患者数は明瞭ではありませんが、ILD患者のある集団内で、CTD-ILD又は未分化組織結合病間質性肺疾患 (UCTD-ILD) の患者数はIPF患者数の2倍近くとの報告があります。即ち、CTD-ILD又はUCTD-ILDの有病率は、IPFより高いことを示しております。当社では、CTD-ILDに関する第3相臨床試験については、当局との微調整のため一時的に中断しておりますが、これが終了次第再開する予定です。

## ■F351 (肝線維症等治療薬)

F351 (一般名: ヒドロニドン) は、当社グループのパイプラインの中でも重要な創薬候補化合物で、臨床開発活動を世界の主要医薬品市場で展開する当社戦略に必要な不可欠なものです。F351は、アイスーリュイの誘導体である新規創薬候補化合物です。内臓の線維化に重要な役割を果たす肝星細胞の増殖及びTGF- $\beta$ 伝達経路の両方の阻害剤で、当社の連結子会社である上海ジェノミクス有限公司 (上海ジェノミクス) における多様な動物試験において、肝線維症及び腎線維症に対して顕著な有効性を示しました。当社グループは中国、日本、豪州、カナダ、米国、欧州各国を含む主要な国でのF351の特許権を保有しております。

中国 - 当社グループは、中国において、F351の肝線維症治療薬としての第2相臨床試験を行っておりますが、これは、慢性B型肝炎ウイルス感染による肝線維症の治療におけるF351の安全性及び有効性を検証するため、中国全土のクラスAAAの13の病院が参加し、最大240人の被験者に対して、無作為、二重盲検比較試験、反復投与、多施設での試験を行うものです。2017年9月末日現在、複数の施設で、139人の被験者登録が行われています。

米国 - 2016年3月、当社グループは、肝線維症治療薬としてのF351の米国におけるIND申請を米国食品医薬品局 (FDA) に対して行いました。その後、2016年5月3日にはFDAから通知を受領し、追加的に、米国GLP基準に準拠した毒性試験結果の提出を要請されました。2016年7月には、当社は、米国GLP基準に準拠した試験を第三者機関である医薬品開発業務受託機関 (CRO) に委託しました。当CROが米国GLPに準拠した毒性試験を成功裏に終了したため、2017年8月30日、当社は、FDAから要請された追加資料を提出しました。その後、2017年9月29日には、FDAより、肝線維症治療薬としての第1相臨床試験開始の承認を取得いたしました。

## ■タミバロテン (急性前骨髄球性白血病 (APL) 治療薬)

タミバロテンは、APL治療薬です。APLは、急性骨髄白血病の一種で、前骨髄球が「がん化」する白血病です。タミバロテンは、白血病が有するPML/RAR $\alpha$ という異常分子に特異的に働く分子標的薬で、抗がん剤治療とは異なり、白血病細胞を破壊するのではなく、より成熟した細胞に分化させることで治療効果を発揮します。また、タミ



パロテンは、オールトランス型レチノイン酸（ATRA）耐性を獲得し、トレチノインに反応しなくなったAPL症例に対しても効果があることが期待されております。

東光薬品工業株式会社と当社子会社のGNI-EPS（HONG KONG）HOLDINGS LIMITEDは、2015年10月に、アムノレイク錠2mg（一般名：タミパロテン）を、輸入薬として、CFDAに登録申請を行いました。当社は、CFDAの承認を取得次第、アムノレイク®の販売・流通を行うことができるように準備を行っております。

#### ■F573（急性肝不全・慢性肝不全急性化（ACLF）治療薬）

ACLF治療薬F573は、アイスーリュイ及びF351に続く3つ目の新薬候補化合物で、当社グループは、2011年7月にCFDAにIND申請書を提出しております。F573は、ジペプチド化合物で、細胞死や炎症反応をもたらす酵素の一種であるカスパーゼを阻害する可能性を持つものです。大規模な肝細胞死は、多くの場合、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、アルコール性肝硬変に起因する重症肝炎と関連して発生しますが、中国では、B型肝炎ウイルスに起因する肝疾患の患者が、世界的に見ても多く存在しています。この治療法としては、現存する抗ウイルス剤による治療以外の選択肢は限られており、最終手段である肝臓移植は、大変高額な治療であります。

F573は、米国企業EpiCept Corporation（現Immune Pharmaceuticals, Inc.）からライセンスの供与を受けたものであり、当社グループは、アジアにおいては、中国、日本、豪州及びニュージーランド他の権利を保有し、更には、その他の地域の権利も取得できる優先権も保有しております。

#### ■その他

以上のパイプラインの他、2015年12月には、当社の連結子会社である北京コンチネントが、酪酸ヒドロコルチゾンの温度により制御されるフォーム製剤（外用薬）のIND申請書を北京市食品薬品监督管理局（北京FDA）に提出し、受理されております。当フォーム製剤は、湿疹、乾癬、接触性皮膚炎等の外用薬として、北京コンチネントとGENEPHARM Biotech Corp.（台湾企業）により共同開発されたものです。当フォーム製剤が承認されれば、これは中国で初めての温度により制御されるフォーム製剤となります。北京コンチネントは、当第2四半期連結会計期間において北京FDAから通知を受領しました。同通知において、当初提出したフォーム製剤に関するIND申請の情報が一部不足しており、当申請を補完する追加的なデータ提出を要請されました。同通知において要請された追加的な資料は、不純物分析方法や長期安定性検査等で、北京コンチネントはこれらのデータを準備し、出来るだけ早期にIND申請の再提出を行う予定です。

#### （4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年12月期の連結業績予想につきましては、2017年4月18日付で当社が公表した「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」及び2017年4月19日付で当社が公表した「（訂正）「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について」に記載のとおりです。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>資産</b>		
非流動資産		
有形固定資産	616,747	1,247,887
のれん	138,549	6,064,139
その他の無形資産	226,418	222,440
持分法で会計処理されている投資	726,992	-
繰延税金資産	9,860	23,118
その他の金融資産	69,087	385,695
その他の非流動資産	347,631	417,486
非流動資産 合計	2,135,287	8,360,767
流動資産		
棚卸資産	260,621	696,527
営業債権及びその他の債権	269,775	649,903
その他の金融資産	501,373	721,059
その他の流動資産	52,608	83,326
現金及び現金同等物	2,599,131	4,160,825
流動資産 合計	3,683,510	6,311,643
資産 合計	5,818,798	14,672,410
<b>負債及び資本</b>		
非流動負債		
借入金	488,273	522,594
その他の金融負債	-	2,969,270
その他の非流動負債	34,895	31,379
非流動負債 合計	523,168	3,523,244
流動負債		
営業債務及びその他の債務	166,970	203,480
借入金	190,446	646,315
未払法人所得税	66,933	47,420
その他の金融負債	-	395,072
その他の流動負債	338,209	414,952
流動負債 合計	762,560	1,707,241
負債 合計	1,285,729	5,230,486
<b>資本</b>		
資本金	5,840,152	10,253,345
資本剰余金	5,704,300	7,034,113
自己株式	△253	△253
利益剰余金	△8,350,628	△8,639,965
その他の資本の構成要素	67,478	146,289
親会社の所有者に帰属する部分合計	3,261,049	8,564,665
非支配持分	1,272,020	877,258
資本 合計	4,533,069	9,441,924
資本及び負債の合計	5,818,798	14,672,410

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)
売上収益	830,592	1,463,578
売上原価	△135,129	△259,601
売上総利益	695,462	1,203,977
販売費及び一般管理費	△776,580	△1,179,606
研究開発費	△201,869	△170,629
その他の収益	34,915	59,925
その他の費用	△24,467	△32,128
営業利益(△損失)	△272,538	△118,460
金融収益	14,500	18,282
金融費用	△346,278	△25,819
持分法による投資利益(△損失)	△22,137	△33,905
税引前四半期利益(△損失)	△626,453	△159,902
法人所得税費用	△84,018	△54,283
四半期利益(△損失)	△710,471	△214,186
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	△705,033	△289,337
非支配持分	△5,438	75,151
1株当たり四半期利益(△損失)(円)		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)	△6.20	△2.37
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)	-	-

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)
四半期利益(△損失)	△710,471	△214,186
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△70,802	<u>99,404</u>
その他の包括利益合計	△70,802	<u>99,404</u>
四半期包括利益合計	<u>△781,274</u>	<u>△114,781</u>
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△517,436	<u>△173,966</u>
非支配持分	△263,837	<u>59,185</u>

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2016年1月1日至2016年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2016年1月1日残高	5,828,953	5,788,953	△155	△7,837,526	85,668	△30,519	55,149
四半期利益(△損失)	-	-	-	△705,033	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	187,596	187,596
四半期包括利益合計	-	-	-	△705,033	-	187,596	187,596
支配継続子会社に対する持分の変動	-	△64,200	-	-	-	389	389
新株の発行	1,015	1,015	-	-	△972	-	△972
自己株式の取得	-	-	△98	-	-	-	-
株式報酬取引	-	-	-	-	11,680	-	11,680
所有者との取引額合計	1,015	△63,185	△98	-	10,707	389	11,097
2016年9月30日	5,829,968	5,725,768	△253	△8,542,560	96,376	157,467	253,843

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2016年1月1日残高	3,835,374	1,292,481	5,127,855
四半期利益(△損失)	△705,033	△5,438	△710,471
その他の包括利益	187,596	△258,399	△70,802
四半期包括利益合計	△517,436	△263,837	△781,274
支配継続子会社に対する持分の変動	△63,810	△8,164	△71,975
新株の発行	1,058	-	1,058
自己株式の取得	△98	-	△98
株式報酬取引	11,680	-	11,680
所有者との取引額合計	△51,171	△8,164	△59,336
2016年9月30日残高	3,266,766	1,020,479	4,287,245

当第3四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2017年1月1日残高	5,840,152	5,704,300	△253	△8,350,628	86,895	△19,416	67,478
四半期利益(△損失)	-	-	-	△289,337	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	115,370	115,370
四半期包括利益合計	-	-	-	△289,337	-	115,370	115,370
支配継続子会社に対する持分の変動	-	△247,365	-	-	-	△22,736	△22,736
新株の発行	4,413,193	4,413,193	-	-	△20,519	-	△20,519
株式発行費用	-	△33,888	-	-	-	-	-
非支配持分に係る売建プット・オプション負債の変動	-	△3,030,989	-	-	-	6,696	6,696
所有者との取引額合計	4,413,193	1,100,949	-	-	△20,519	△16,040	△36,559
2017年9月30日	10,253,345	6,805,250	△253	△8,639,965	66,376	79,913	146,289

	親会社の所有者に帰属する部分 △173,966	非支配持分	資本合計
	合計		
2017年1月1日残高	3,261,049	1,272,020	4,533,069
四半期利益(△損失)	△289,337	75,151	△214,186
その他の包括利益	115,370	△15,965	99,404
四半期包括利益合計	△173,966	59,185	△114,781
支配継続子会社に対する持分の変動	△270,102	△121,844	△391,946
新株の発行	8,805,867	-	8,805,867
株式発行費用	△33,888	-	△33,888
非支配持分に係る売建プット・オプション負債の変動	△3,024,293	△332,102	△3,356,395
所有者との取引額合計	5,477,583	△453,946	5,023,636
2017年9月30日残高	8,564,665	877,258	9,441,924

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△損失)	△626,453	△159,902
減価償却費	37,081	101,830
株式報酬費用	11,680	-
営業債権及びその他の債権の増減額	△194,089	△368,913
営業債務及びその他の債務の増減額	43,232	35,244
棚卸資産の増減	△47,917	△17,491
金融収益及び金融費用	250,488	△3,853
持分法による投資損失	22,137	33,905
関連会社株式売却益	-	△44,622
その他	5,375	△75,643
小計	△498,466	△499,445
利息の受取額	17,311	15,891
利息の支払額	△16,588	△29,483
法人所得税の支払額	△5,177	△86,819
営業活動による正味キャッシュ・フロー	△502,919	△599,857
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△73,211	△207,173
定期預金の払戻による収入	219,500	-
有形固定資産の取得による支出	△3,832	△224,714
無形資産の取得による支出	-	△4,230
長期前払費用の増加に伴う支出	-	△83,073
差入保証金・敷金の増加による支出	△324	-
差入保証金・敷金の減少による収入	-	39
貸付金の回収による収入	4,998	5,089
子会社持分の取得による支出	-	△6,404,042
関連会社株式の売却による収入	-	425,174
投資活動による正味キャッシュ・フロー	147,129	△6,492,930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額	△71,706	276,781
長期借入金の返済による支出	△8,410	△400,753
長期借入による収入	71,973	594,072
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,058	8,746,190
新株予約権の発行による収入	-	25,788
自己株式の取得による支出	△98	-
連結の範囲の変更を伴わない非支配持分の取得による支出	△72,755	△583,405
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△79,938	8,658,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	△80,946	△4,191
現金及び現金同等物の増減額	△516,674	1,561,694
現金及び現金同等物の期首残高	3,022,720	2,599,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,506,045	4,160,825

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当第3四半期連結累計期間におけるBABの買収により、従来の創薬及び製造販売事業である医薬品事業に加えて、医療機器事業も展開することになりました。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び受託研究などを行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

また、医療機器事業を当社グループの事業に加えたことにより、グループの資源配分や業績評価などの管理手法の変更を行うとともに、当第3四半期連結累計期間において、各地域を一体として経営判断を行うため、当社グループの報告セグメントの見直しを行っております。この結果、報告セグメントを従来の地域別での「日本」、「中国」及び「米国」の3区分から、事業別による「医薬品事業」及び「医療機器事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

上記のように決定された報告セグメントにおける主要セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	会社名	主要製品
医薬品事業	株式会社ジーエヌアイグループ、北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI-EPS (HONG KONG) HOLDINGS LIMITED、GNI-EPS Pharmaceuticals, Inc.、上海ジェノミクステクノロジー有限公司、Shanghai GEP Pharmaceuticals, Inc.、GNI USA, Inc.	試薬、 アイスーリュイ、その他医薬品、 F351など
医療機器事業	Berkeley Advanced Biomaterials LLC	生体材料

## (2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。各報告セグメントの会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。



前第3四半期連結累計期間（自 2016年1月1日 至 2016年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	830,592	-	830,592	-	830,592
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	21,197	-	21,197	△21,197	-
計	851,789	-	851,789	△21,197	830,592
セグメント利益（△損失）	△274,892	-	△274,892	2,353	△272,538
				金融収益	14,500
				金融費用	△346,278
				持分法による投資損失	△22,137
				税引前四半期利益（△損失）	△626,453

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。
- 2 当連結会計年度において報告セグメントを変更したため、前連結会計年度のセグメント情報を修正再表示しております。
- 3 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。また、セグメント損失（△）の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。
- 4 セグメント利益（△損失）は、要約四半期連結損益計算書の営業利益（△損失）を用いております。

当第3四半期連結累計期間（自 2017年1月1日 至 2017年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	1,163,460	300,118	1,463,578	-	1,463,578
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	105,848	-	105,848	△105,848	-
計	1,269,309	300,118	1,569,427	△105,848	1,463,578
セグメント利益（△損失）	△299,841	143,018	△156,822	38,361	△118,460
				金融収益	18,282
				金融費用	△25,819
				持分法による投資損失	△33,905
				税引前四半期利益（△損失）	△159,902

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。
- 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。また、セグメント利益（△損失）の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。
- 3 セグメント利益（△損失）は、要約四半期連結損益計算書の営業利益（△損失）を用いております。